



7年目を迎えた地域学習「那珂川学」 始動しました

本校の普通科で実施している地域学習「那珂川学」は、平成28年の創立70周年の年に始まり、本年度で7年目を迎えました。導入に当たってのコンセプトは、『この地域が持つ「良さ」を発見し、未来へ繋ぐ努力をする』でした。これは馬頭高校が掲げている「地域社会に貢献する人材の育成」という存在意義（スクールミッション）と相通ずるものがあります。そして、「那珂川学」は地域に開かれた学校づくりそのものであると言えます。

「那珂川学」は町や地域の皆様のご協力がなければ成り立たず、貴重な人的物的資源が生徒の学びを支えています。7年間のうちに当初のプログラムに変更を加え、少しずつ改善しながら現在に至っています。1年間にわたる協働的な学びは、那珂川町の歴史・文化・風土だけにとどまらず、人口減少や少子高齢化など町が直面する課題を知ることを通して、自らの生き方を考える深い学びに繋がるものです。

昨年度はコロナ禍により計画の変更や中止を余儀なくされましたが、何とか規模を縮小し校内発表会を開催することができました。生徒のプレゼンテーション能力の向上が見られましたが、最も大きな収穫は、学習の過程での地域の皆様とのふれあいやコミュニケーションだったと感じています。

令和4年度の「那珂川学」も既に始まっています。コロナ禍の状況によりますが、1年間の学習の成果として、年度末には多くの方々に参加していただき発表会が開催できることを願っています。那珂川町並びに地域の皆様には大変お世話になりますが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



【馬頭ししまる】



【民話】